

目 次

諸外国の配電事情とその動向	配電方式専門委員会
委員会組織	(1)
本報告書執筆担当者名	(2)
第1章 総 論	(3)
1-1 緒 言	(3)
1-2 調査目的と質問事項	(3)
1-2-1 配電々庄と配電系統	(3)
1-2-2 需用家許容電圧変動範囲	(5)
1-2-3 フリッカ許容限界	(6)
1-2-4 需用家保護対策	(6)
1-2-5 供給信頼度	(7)
1-2-6 誘導障害	(7)
1-2-7 配電系統の計画に対する方針	(7)
1-3 アンケート発送先と回答回収状況	(8)
1-3-1 アンケート発送先	(8)
1-3-2 回答回収状況	(9)
第2章 回答内容	(13)
2-1 配電々庄と配電系統	(13)
2-1-1 配電々庄と配電方式の型	(13)
2-1-2 配電用柱上変圧器	(17)
2-1-3 第2種接地工事	(19)
2-2 需用家許容電圧変動範囲	(44)
2-2-1 許容電圧変動範囲の基準をとる位置	(44)
2-2-2 許容電圧変動範囲	(45)
2-2-3 電圧降下の配分について	(46)
2-2-4 電圧不平衡対策	(47)
2-3 フリッカ許容限界	(52)
2-3-1 許容フリッカ電圧の規程について	(52)
2-3-2 フリッカの頻度と特性格の規程について	(53)
2-3-3 起動電流の規程について	(53)
2-3-4 起動電流を減少する対策について	(54)
2-3-5 フリッカ電圧を抑制する対策について	(54)
2-4 需用家保護対策	(65)
2-4-1 接触電圧	(65)
2-4-2 保護対策	(66)
2-4-3 水道管接地	(67)
2-4-4 検定試験	(67)
2-5 電力供給信頼度	(74)
2-5-1 供給信頼度の定義について	(74)
2-5-2 配電線路の停電実態について	(74)

2-6 誘導障害	(78)
2-6-1 対処策	(78)
2-6-2 効果的な保護対策	(79)
2-7 配電系統計画	(81)
2-7-1 負荷構成	(81)
2-7-2 昇圧計画	(83)
2-7-3 系統構成	(85)
第3章 わが国との比較	(109)
3-1 配電々圧と配電系統	(109)
3-1-1 配電々圧と配電方式	(109)
3-1-2 変圧器の定格と特性	(110)
3-1-3 第2種接地工事	(111)
3-2 需用家許容電圧変動範囲	(114)
3-2-1 許容電圧変動範囲の基準をとる位置	(114)
3-2-2 許容電圧変動範囲	(114)
3-2-3 電圧降下の配分	(114)
3-3 フリッカ許容限界	(114)
3-3-1 フリッカ限界曲線	(115)
3-3-2 モーターの起動電流	(115)
3-3-3 フリッカ電圧抑制対策	(119)
3-4 需用家保護対策	(120)
3-4-1 接触電圧	(120)
3-4-2 保護対策	(120)
3-4-3 水道管接地	(120)
3-4-4 検定試験	(120)
3-5 電力供給信頼度	(120)
3-5-1 供給信頼度	(120)
3-5-2 停電の実態	(121)
3-6 誘導障害	(122)
3-7 配電系統計画	(123)
3-7-1 高圧配電線の昇圧	(123)
3-7-2 低圧配電線の昇圧	(123)
3-7-3 負荷密度と配電方式	(123)
3-7-4 線路容量と保護方式	(124)
3-7-5 電圧調整	(124)
3-7-6 力率	(124)
3-7-7 低圧需用家契約容量の範囲	(124)
3-7-8 柱上変圧器の運用	(124)
〔付録〕	
I ニュージーランドにおける配電事情の概要	(125)
II コモンウェルス回答内容	(127)
III 提出資料一覧表	(128)
電気協同研究会最近の動き	(131)